

チュートリアル課題 トマトみたいに赤い赤ちゃん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032235

2013年度 Block. 6

課 題 No.2

課題名： トマトみたいに赤い赤ちゃん

課題作成者： 母子総合医療センター 戸津 五月



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

佐藤彩子さんは吸引分娩で出産しました。在胎期間は38週5日、出生体重は3,750gの女児でした。出生1分後、5分後の赤ちゃんの状態はそれぞれ以下のようでした。

1分後：呼吸はありましたが、泣いていませんでした。心拍数は80回/分、手足は少し曲げていました。口腔内と鼻腔を吸引したとき顔をしかめました。また、全身が紫色でした。分娩に立ち会った新生児科の先生は、ただちに蘇生を開始し、生後3分で泣き始めました。

5分後：元気に泣いていました。心拍数は150回/分、手足をバタバタさせていました。口腔内を吸引するとくしゃみをして咳き込みました。SpO₂は96%でしたが、手のひらと足底は少し紫でした。

シート2

新生児科の先生は、「赤ちゃんは元気になりましたが、お母さんの病気の影響がでているかもしれません」と言いました。赤ちゃんはトマトのように真っ赤で、NICUに入院になりました。心拍数 158回/分、呼吸数 52回/分、体温 36.8℃、SpO₂ 96%で、元気に泣いていました。

シート3

赤ちゃんは生後6時間から母乳を飲み始めました。

出生翌日（日齢1）彩子さんが面会に行ったとき、新生児科の先生から、「心雑音があります。出生時に検査を一通り行っていますが、今日も超音波検査を確認します」と言われました。

シート4

日齢3、先生は、「心雑音はなくなりました。ミルクもよく飲めていますよ」と言いました。彩子さんは赤ちゃんの体が黄色いことが気になりました。

シート5

日齢4になって、体の黄色みは少し改善し、治療は終了しました。佐藤さんの赤ちゃんはあやのと名付けられました。日齢5にあやのちゃんはNICUを出て、彩子さんと同室になりました。明日はあやのちゃんとともに退院です。彩子さんは、あやのちゃんが糖尿病の影響を受けて生まれたため、将来が少し不安です。